

真夏の暑さも水散布で乗り切り大きく成長

昨年と違い、大雨による増水の影響も少なく泥水に埋もれることや葉がシルトで白く変色することもなく、カワラノギクは大きく成長して花芽も多く見えます。但し、新たな脅威として”アメリカネナシカズラ”の寄生や”シナダレスズメガヤ”の圃場進出が目覚ましく、当分は外来植物との戦いになりそうです。

【8/23～9/24 一か月間の圃場の活動内容と成長記録】 9/24観察では、140cmまで伸びた”カワラノギク”も数本見られる



9/12 運営委員の皆さんが圃場観察



9/12 カヌーで圃場に向かいます



9/16 たっぷりの水散布でカワラノギクに潤いを与え、繁茂したシナダレの幼苗抜き取り



8/19に初めて進出を見た”アメリカネナシカズラ”は、8/25、9/16、9/24駆除の繰り返し



9/24 第1、2圃場共に”カワラノギク”は大きく成長して花芽は今にも花が咲きそうです



圃場下手のワンドは伏流水で水も清く流れ、多くの小魚が泳ぐのが見られます